

国際ファッション専門職大学

2022年・第1回公開講座 @ZOOMウェビナー

Admission  
Free! 参加  
無料

2022.7.30 Sat  
13:00 --- 14:30

参加の申し込みは、下記URLより受付中です!

※QRコードからもアクセス可能です。

申し込みフォーム▶ <https://onl.tw/pHMTGJ8>



Lecture **デジタルテクノロジーとクリエイティブ産業**  
title ▶ **—— モジュール、プロセス、ナラティブ ——**

日本でインターネットの商用利用がスタートしてから今年で30年となります。いまや私たちの生活のあらゆる側面において、インターネットを通信基盤としたデジタルテクノロジーが機能しているのは周知の事実でしょう。人工知能、IoT、ビッグデータ、仮想通貨、VR/AR、自律走行車などなど……、具体的な例を挙げればキリがありません。さらに、2年以上にわたる新型コロナウイルスのパンデミックによって、学校においてはオンラインでの授業、企業においてはオンラインでの会議等、これまでオプションと位置付けられていたデジタルツールがほぼデフォルトになり、社会に完全に実装されたと言っていいでしょう。これはとりもなおさず、私たちの価値基準や思考形態、行動様式の変化でもあります。

制作から生産、流通、販売という一連の工程においてアナログな要素を多分に含んでいたファッションの世界でも、デジタルテクノロジーの介入は不可避です。コロナ禍によって多くの企業やブランドがEC(Electronic Commerce)に注力

し始めたことを皮切りに、まだ黎明期にあるメタバースへの出店やNFT(Non-Fungible Token)の活用をことさら急いでいるように見受けられます。

しかし、アナログな世界がデジタルに移行するとき、そこには単なる様式や形式の置き換えではない根本的な変化が生じます。デジタル化という言葉だけが無闇に喧伝される昨今において、デジタルテクノロジーのそもそもの原理や特質についての考察は置き去りにされがちです。今回の公開講座では、「アナログからデジタルへ」という潮流を考えるうえで意外な盲点となっている、両者の本質的な差異にスポットライトを当てたいと思います。今後ファッションを含めたクリエイティブ産業がどういう方向に新たな可能性を見出していくべきなのか、60分という短い時間ではありますが、皆さんの思考のきっかけになるような手掛かりを一緒に探求していきましょう。社会人の方々はもちろん、本学への入学を検討している高校生の参加も大歓迎です。

▶ 高橋 幸治 (国際ファッション専門職大学教授)

日本大学芸術学部文芸学科卒業。大学卒業後、株式会社電通にてコピーライター・CMプランナーとして大手企業のテレビCMやラジオCMなどを担当。株式会社アスキーに入社後、Macとクリエイティブカルチャーをテーマとした「MacPower」編集長としてメディアのトータルディレクションを行う。独立後はデジタル分野を中心に企業のクリエイティブ戦略を幅広く手がけるかたわら、メディア批評も多数執筆。日本大学芸術学部文芸学科非常勤講師。著書に『メディア、編集、テクノロジー』(クロスメディア・パブリッシング)、『Rethink Internet: インターネット再考』(現代図書)がある。本学では「メディア概論」「デジタルテクノロジー演習」「産業とメディアデザイン」「広告・PR論」「統合指導ゼミ」を担当。



Speaker.  
Koji Takahashi